

2025. 5. 19

「バランスシート・マネジメント・コンソーシアム」を設立 ～コア預金モデルを核としたリスク管理の高度化をめざす～

静岡銀行(頭取 八木 稔)では、グループの第1次中期経営計画で取り組む「社会価値創造と企業価値向上の両立」に向け、資金収益の安定化や資産・負債管理(ALM)の健全性向上をめざし、「コア預金モデル(※)」の高度化に取り組んでいます。

本取り組みの一環として、このたび「アリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社(以下、アリアンツGI)」「NSフィナンシャルマネジメントコンサルティング株式会社(以下、NSFMC)」とともに、ALMの高度化を目的とする「バランスシート・マネジメント・コンソーシアム」を設立しましたので、その概要をご案内します。

※ 銀行がお預りする預金のうち、当分引き出されず長期滞留している預金(コア預金)の経済価値を評価するモデル
金融機関が資金収益の安定化や資産・負債管理の健全性を高めることを通じて、企業価値の向上に寄与する

1. 設立日 5月9日(金)

2. 設立の背景、目的

- 日本銀行による政策金利の引き上げにともない「金利ある世界」が到来しているなか、静岡銀行では、いかなる環境下においても円滑な資金供給を行う地域の金融インフラとしての役割を果たすため、2024年9月に「新たなコア預金モデル」を導入し、コア預金の経済価値の計測に取り組んできました。
- 本モデルは、アリアンツGI、NSFMC、周南公立大学の木島正明教授との共同研究を通じて導入したもので、月次の預金残高の変動率に金利局面(上昇・低下)トレンドや季節要因、セグメント間の相関性等の個別パラメータを加味して、将来の預金残高を推計できる先進的なモデルとなります。
- このたび、本取り組みをさらに発展させ、コア預金モデルを核として資産・負債の分析・評価の高度化を図り、金利上昇等に対するリスク管理体制の強化をめざす「コンソーシアム」を設立することとしました。
- 今後は、本コンソーシアムに参加いただく地域金融機関を募集し、「金利ある世界」「人口減少」など外部環境の変化を考慮したバランスシート運営について議論を深めるとともに、各行のバランスシートにおけるリスク許容度の把握とリスク・リターン向上を図ることで、ALMのさらなる高度化に取り組んでまいります。

3. コンソーシアムの概要

名称	バランスシート・マネジメント・コンソーシアム
参加対象	地域金融機関(最大30行)
申込方法	銀行名、部署、役職名、担当者氏名、電話番号、メールアドレスを明記のうえ、以下のメールアドレスにお申し込みください(30行に達した時点で受付終了) E-mail: koayokin@jp.shizugin.com
申込期間	5月19日(月)～6月30日(月)
照会先	静岡銀行 リスク統括部 リスク統括グループ(川原) E-mail: koayokin_renraku@jp.shizugin.com TEL. 054-345-7340

4. コンソーシアム主要メンバーと役割

静岡銀行など地域金融機関	預金動向に関するデータや地銀としての知見を提供
アリアンツGI	欧州最大級の損保会社グループとしてドイツをはじめ世界各国に拠点を有する資産運用会社。リスクラボとしてミュンヘン工科大学等と学術的なネットワークを有する部門が海外の事例等の知見を提供
木島正明氏(顧問)	コア預金モデルの原型の構築者で、学術的な面からサポート
NSFMC	システムインテグレーター大手の日鉄ソリューションズグループの一員で、コア預金モデルの開発およびデータサイエンスに関する知見を提供